



「無謀なDIY」が招く危険 ～ エアコンの事故 ～

1. 事故の発生状況

2017年度から2021年度の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県でエアコンによる事故は合計34件^{※2}ありました。

(1) 県別および年別事故発生件数（表1）

表1 エアコンの県別および年別事故発生件数（2017～2021年度）（単位：件）

事故発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
2017年	1	1	2	0	1	0	0	2	7	
2018年	3	0	0	0	0	0	1	2	6	
2019年	1	1	0	1	0	1	0	2	6	
2020年	3	0	1	1	0	0	0	1	6	
2021年	2	1	2	2	1	1	0	0	9	
合計	事故件数	10	3	5	4	2	2	1	7	34
	(火災件数)	(10)	(3)	(5)	(4)	(2)	(2)	(0)	(6)	(32)

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 エアコンの県別および被害状況別事故発生件数（2017～2021年度）^{※3}（単位：件）

被害状況		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	重傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	8	3	4	4	0	1	0	5	25
	製品破損	1	0	1	0	2	1	1	2	8
合計		10	3	5	4	2	2	1	7	34

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. エアコンの事故事例

(1) 2019年07月（沖縄県、60歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンを焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

長期使用（28年）により、運転コンデンサーの接続端子等がさびて腐食が進み、端子接続部で接触不良が発生し、出火に至ったものと推定される。

(2) 2020年12月（沖縄県、年齢・性別不明、製品損害）

【事故の内容】

エアコン室外機付近から異音がし、機器内部の一部が焼損した。

【事故の原因】

本体内に小動物（ヤモリ）が入り込み、制御基板上の端子部に接触したため、短絡が生じて焼損したものと推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 篠崎

電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329